

# 結果の概要

## 1.人口総数

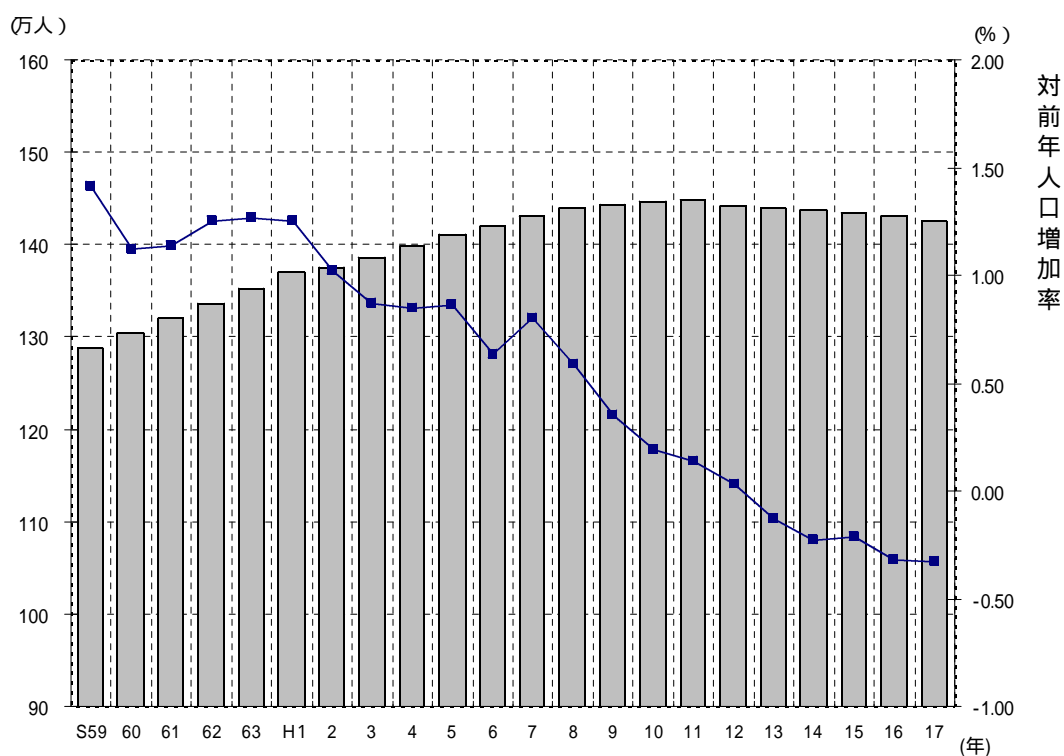
奈良県の人口は143万人

平成17年10月1日の推計人口による本県の人口は1,425,229人で全国総人口の約1.1%を占めている。[平成17年国勢調査速報結果による人口は1,421,367人]

大正9年の第一回国勢調査の人口は564,607人であり85年前と比べると約2.5倍になっている。

(統計表第1表参照)

図1 毎年10月1日の人口及び人口増加率の推移



注)昭和60年、平成2年、7年及び12年は国勢調査人口。

市部人口は全体の75.9%を占める

人口の分布状況を市部・郡部別に見ると、市部が1,082,040人、郡部が343,189人で、市部が全体の75.9%を占めている。

市町村別人口規模が大きいのは、奈良市、橿原市、生駒市の順となり、逆に小さいのは、野迫川村、上北山村、黒滝村の順となっている。(統計表第1表参照)

[平成17年国勢調査速報結果では、市部が1,078,955人(75.9%)、郡部が342,412人(24.1%)となる。](統計表特掲第11表参照)

表1.人口規模の市町村順位

順位	大きい市町村			小さい市町村		
	市町村名	人口(人)	構成比%	市町村名	人口(人)	構成比%
1	奈良市	370,641	26.01	野迫川村	722	0.05
2	橿原市	125,307	8.79	上北山村	796	0.06
3	生駒市	114,024	8.00	黒滝村	1,036	0.07
4	大和郡山市	92,209	6.47	下北山村	1,187	0.08
5	天理市	71,524	5.02	天川村	1,795	0.13

## 2.人口動態

1年間の人口増加数は、4,740人、増加率は0.33%

平成16年10月1日からの1年間の人口動態を見ると、4,740人の減少、増加率は0.33%と前年の0.32%とほぼ同様の結果となった。

なお、自然増加率は前年を0.10ポイント下回る0.03%に、社会増加率は前年を0.08ポイント上回る0.32%となった。また、外国人増加数は前年の131人から262人となった。

人口動態を月別に見ると、自然増加は平成16年10月の143人が最高であり、社会増加は人口移動時期である平成17年4月以外はすべて減少となっている。

増加数	4,740人
— 自然増加	359人
出生	11,384人
死亡	11,743人
— 社会増加	4,643人
転入	30,510人
転出	35,153人
— 外国人増加	262人

表2.人口動態

(単位:人)

年次	人口	対前年増加数		自然増加		社会増加		外国人増加
			率%		率%		率%	
昭和61年	1,319,760	14,894	1.14	6,006	0.46	8,875	0.68	13
昭和62年	1,336,256	16,496	1.25	5,749	0.44	10,603	0.80	144
昭和63年	1,353,193	16,937	1.27	5,496	0.41	11,093	0.83	348
平成元年	1,370,135	16,942	1.25	4,946	0.37	11,997	0.89	1
平成2年	1,375,481	13,993	0.39	4,271	0.31	9,295	0.68	427
平成3年	1,387,442	11,961	0.87	4,192	0.30	7,067	0.51	702
平成4年	1,399,276	11,834	0.85	3,956	0.29	7,296	0.53	582
平成5年	1,411,258	11,982	0.86	3,721	0.27	7,994	0.57	267
平成6年	1,420,196	8,938	0.63	3,833	0.27	5,030	0.36	75
平成7年	1,430,862	11,326	0.75	3,561	0.25	7,546	0.53	219
平成8年	1,439,252	8,390	0.59	3,742	0.26	4,480	0.31	168
平成9年	1,444,340	5,088	0.35	3,432	0.24	1,547	0.11	109
平成10年	1,447,134	2,794	0.19	3,501	0.24	876	0.06	169
平成11年	1,449,138	2,004	0.14	2,725	0.19	630	0.04	91
平成12年	1,442,795	475	0.03	2,852	0.20	2,337	0.16	40
平成13年	1,440,920	1,875	0.13	2,590	0.18	4,969	0.34	504
平成14年	1,437,611	3,309	0.23	2,149	0.15	5,380	0.37	78
平成15年	1,434,576	3,035	0.21	1,251	0.09	4,212	0.29	75
平成16年	1,429,969	4,607	0.32	960	0.07	5,698	0.40	131
平成17年	1,425,229	4,740	0.33	359	0.03	4,643	0.32	262

平成2・7・12年の人口は国勢調査確定値であり、増加数(増加率)とは関係しない。

表3. 月別人口動態

年 月	増加総数	自然動態			社会動態			外国人 増加
		出生	死亡	自然増加	転入	転出	社会増加	
平成16年 10月	35	980	837	143	2,136	2,344	208	30
11月	140	1,005	1,031	26	2,188	2,295	107	7
12月	17	939	950	11	2,220	2,236	16	44
平成17年 1月	703	1,024	1,255	231	1,639	2,109	470	2
2月	818	881	1,149	268	1,804	2,389	585	35
3月	2,451	955	1,145	190	5,342	7,589	2,247	14
4月	895	849	930	81	4,911	3,995	916	60
5月	438	947	992	45	2,173	2,544	371	22
6月	44	939	855	84	1,975	2,112	137	97
7月	222	883	782	101	1,948	2,361	413	90
8月	295	1,033	957	76	2,264	2,584	320	51
9月	594	949	860	89	1,910	2,595	685	2
計	4,740	11,384	11,743	359	30,510	35,153	4,643	262

図2.月別自然動態

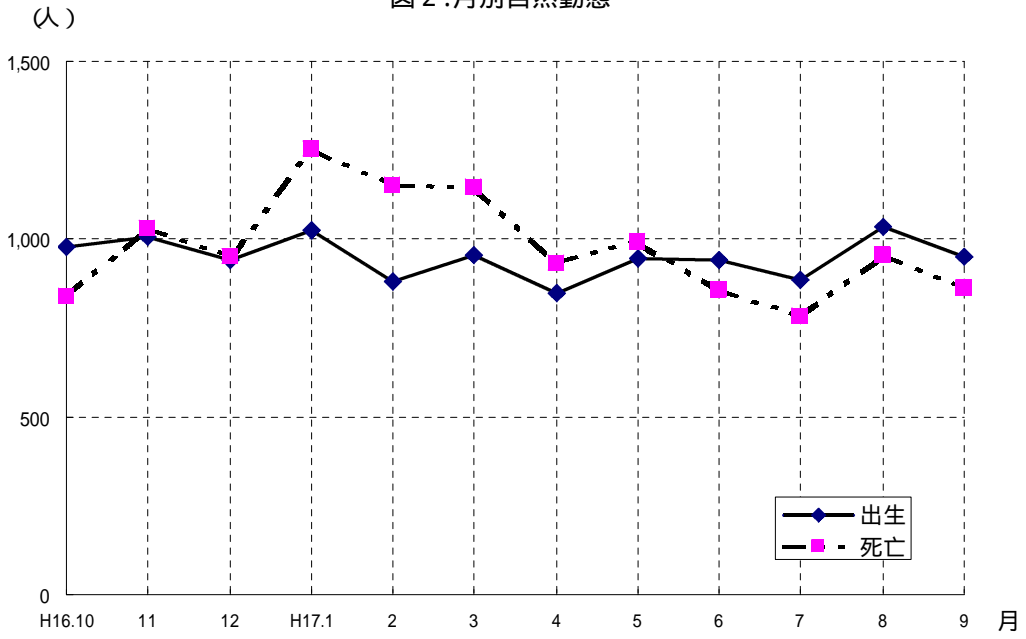
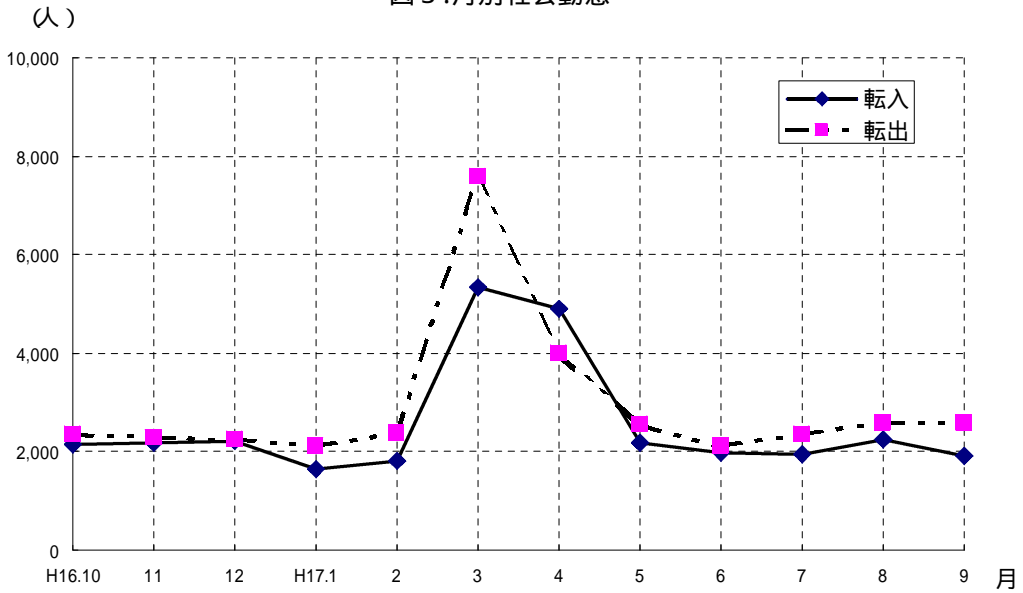


図3.月別社会動態



人口増加数は生駒市が最多で1,006人

この1年間で人口が増加したのは3市4町、減少したのは8市14町13村であった。

1年間の人口減少数4,740人のうち、市郡部別に見ると、市部が2,698人の減少、郡部2,042人の減少となった。

また、市町村別にみると、増加数の多いのは生駒市、香芝市、広陵町、減少数の多いのは奈良市、大和高田市、大和郡山市の順になっている。(統計表第1表参照)

表4.人口増加数の市町村順位

順位	多い市町村		少ない市町村	
	市町村名	増加数(人)	市町村名	増加数(人)
1	生駒市	1,006	奈良市	1,144
2	香芝市	1,001	大和高田市	819
3	広陵町	325	大和郡山市	814
4	葛城市	201	御所市	594
5	三郷町	65	五條市	543

人口増加率は香芝市が最高で1.43%

市町村別の人口増加率は香芝市が最も高く、1.43%であった。

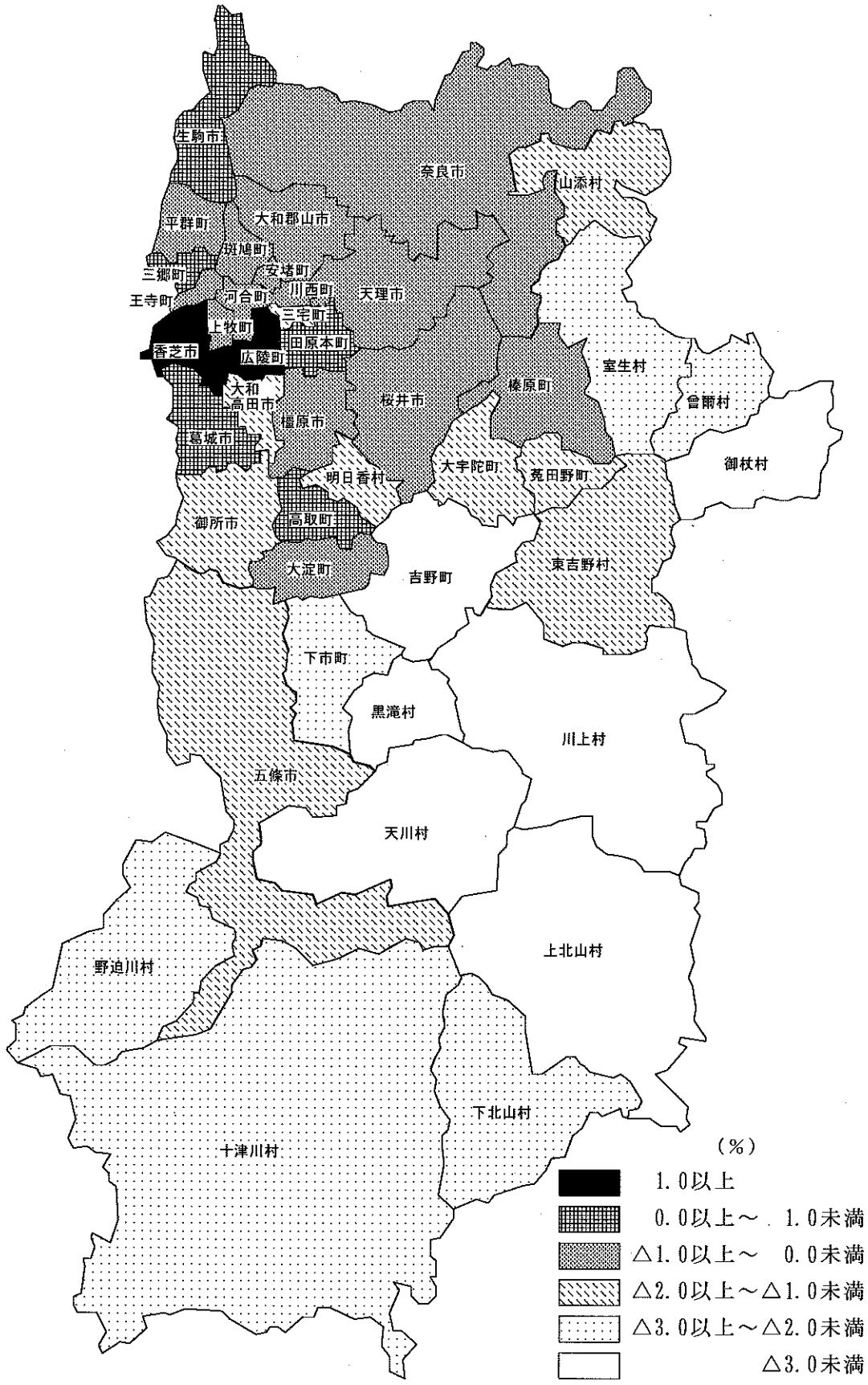
次いで広陵町1.00%、生駒市0.89%となった。

逆に、増加率が最も低いのが上北山村 6.13%で、次いで天川村 4.37%、黒滝村 3.99%の順になっている。(統計表第1表参照)

表5.人口増加率の市町村順位

順位	高い市町村		低い市町村	
	市町村名	増加率(%)	市町村名	増加率(%)
1	香芝市	1.43	上北山村	6.13
2	広陵町	1.00	天川村	4.37
3	生駒市	0.89	黒滝村	3.99
4	葛城市	0.57	川上村	3.49
5	三郷町	0.28	吉野町	3.14

图4. 市町村別人口增加率



### 3.人口密度

県人口密度は386.1人 / Km<sup>2</sup>

平成17年10月1日の推計人口による本県の人口密度(1平方キロメートル当たり人口)は386.1人であった。市・郡部別では、市部が1,056.1人、郡部が128.7人となっている。

次に市町村別の人口密度をみると、最も高いのが大和高田市の4,278.0人で、次いで上牧町、王寺町の順になっている。

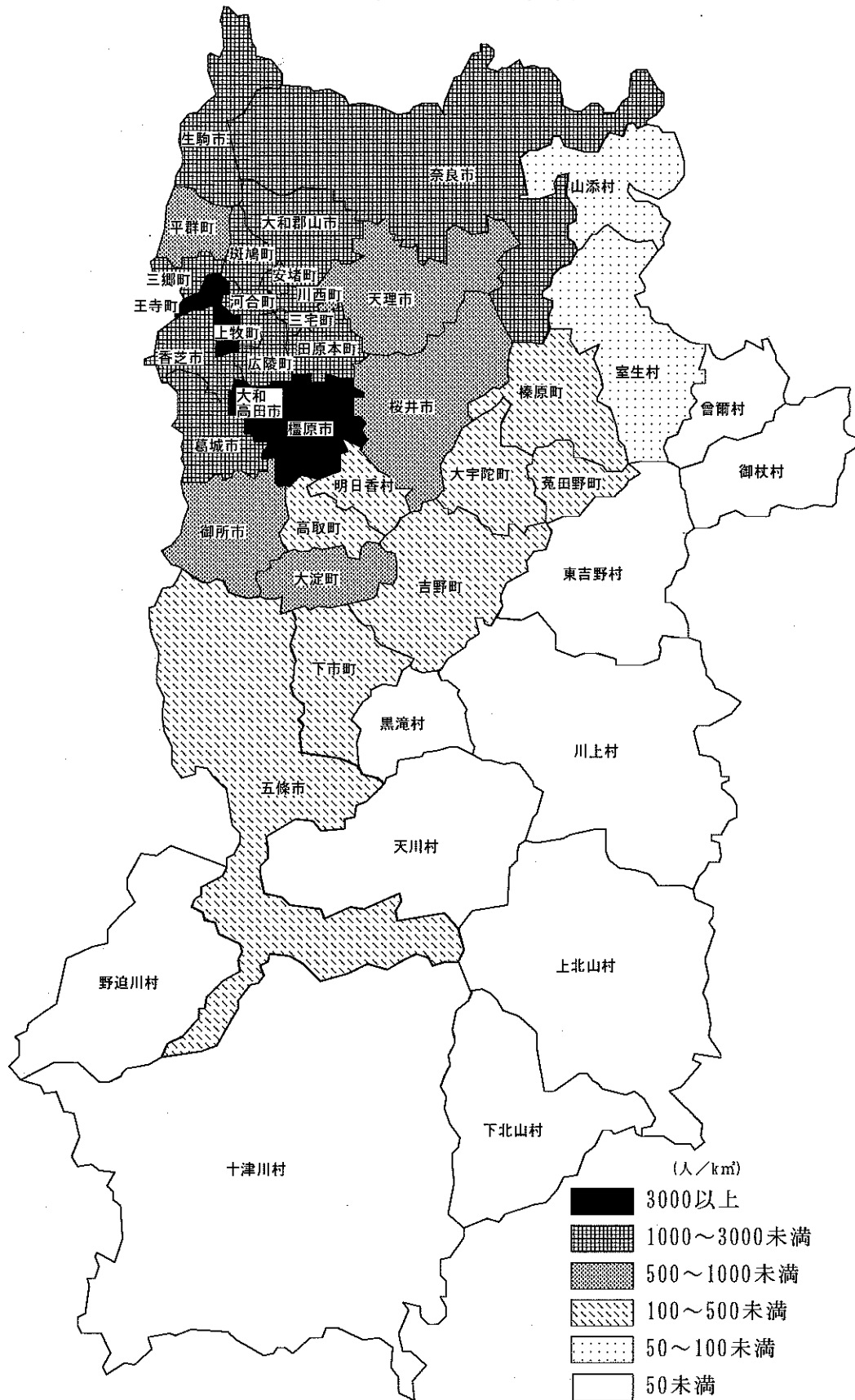
また、最も低いのは上北山村の2.9人で、最も高い大和高田市の約1,475分の1になっている。(統計表第1表参照)

表6.人口密度市町村順位

順位	高い市町村		低い市町村	
	市町村名	人 / km <sup>2</sup>	市町村名	人 / km <sup>2</sup>
1	大和高田市	4,278.0	上北山村	2.9
2	上牧町	4,020.0	野迫川村	4.7
3	王寺町	3,262.7	十津川村	6.6
4	橿原市	3,170.7	川上村	7.9
5	香芝市	2,930.3	下北山村	8.9



图5. 市町村別人口密度



#### 4.人口性比(女子100人に対する男子の数)

県人口の性比は91.08

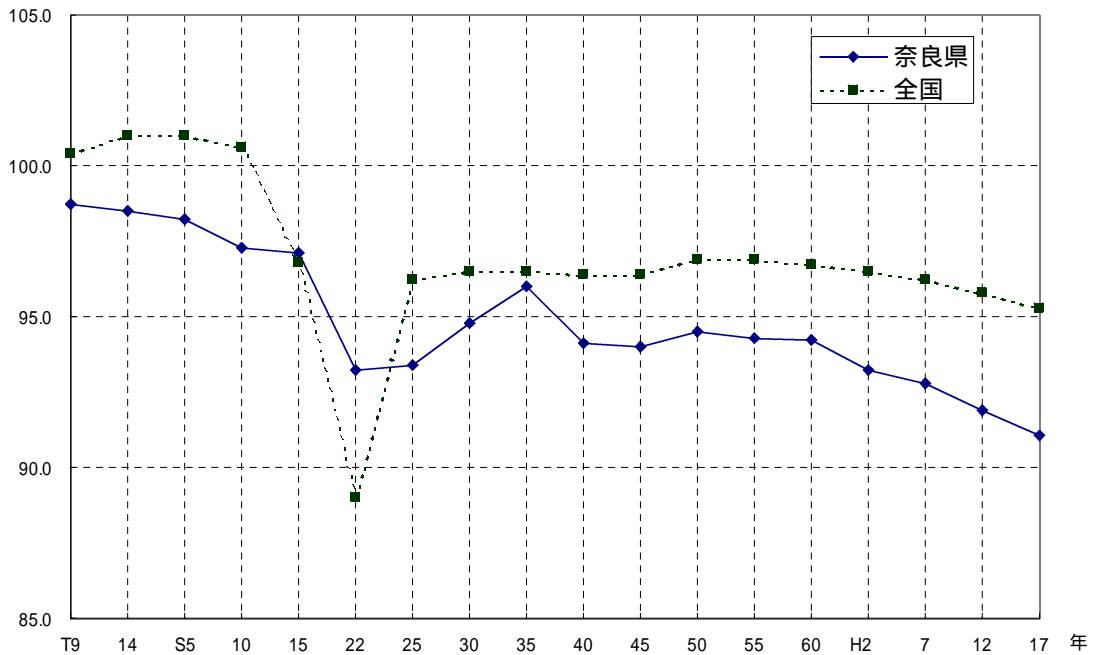
本県の男女別人口は、男子679,361人、女子745,868人で、女子の方が66,507人多く、人口性比は91.08であった。

人口性比の推移をみると、第1回国勢調査のあった大正9年から昭和10年にかけて、全国では100を超えていたが、昭和15年国勢調査以降は100を割っている。本県は一貫して100未満であり女子の人口の方が男子より多い。

また、市町村別にみると、野迫川村が最も高く110.50で、十津川村104.39、川上村103.15と続きこの3村のみ100を超えている。一方、最も低いのは室生村の86.32となっている。

(統計表第1表参照)

図6.人口性比の推移



## 5.世 帯

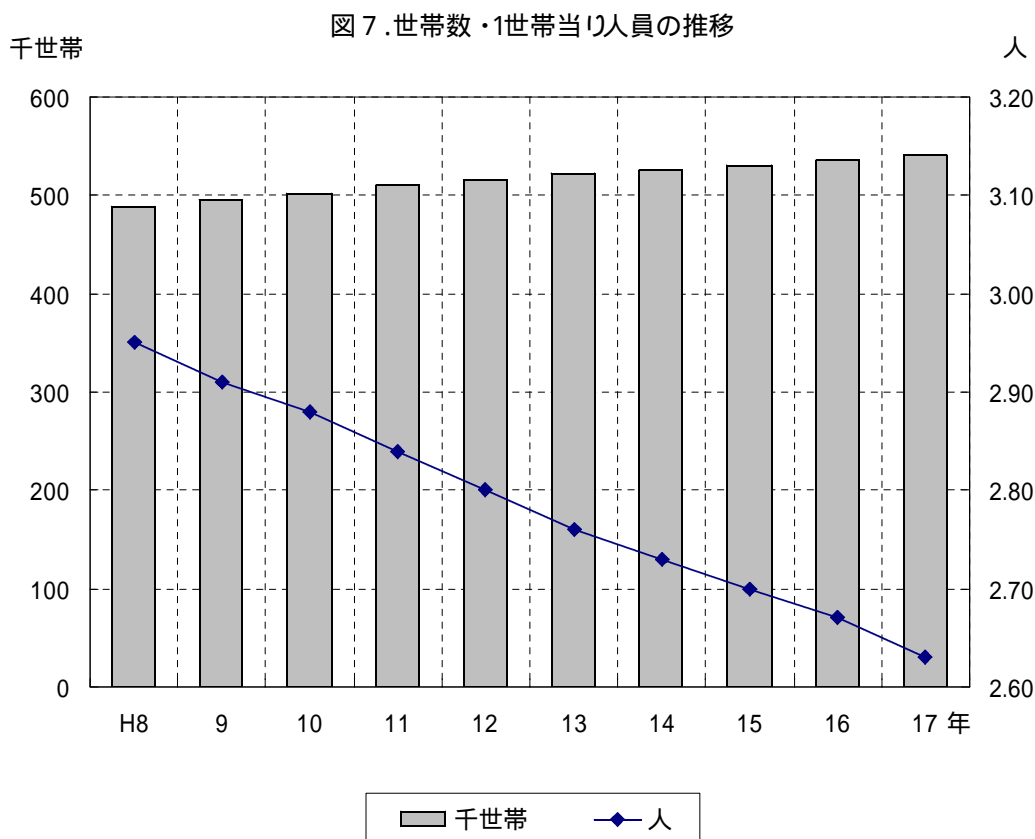
本県の世帯数は54万1千世帯、1世帯当たりの人員は2.63人

平成17年10月1日現在の、本県の住民基本台帳及び外国人登録による世帯数は、540,988世帯で、前年より5,078世帯、率にすると0.95%増加した。

また、1世帯当たりの人員は2.63人で前年より0.04人減少した。

1世帯当たりの人員を市町村別にみると、山添村の3.40人が最も多く、以下広陵町3.14人、明日香村3.02人、大宇陀町2.99人、菟田野町2.97人と続き、逆に最も少ないのは、下北山村の1.79人で、以下川上村2.05人、上北山村2.08人、東吉野村2.18人、十津川村2.18人と吉野郡に集中している。

(統計表第5表参照)



## 6.人口移動(県外)

県外との移動者数は4,643人の転出超過

平成16年10月1日から1年間に県外から転入してきた人は30,510人、県外へ転出した人は35,153人であった。

奈良県では、昭和40年の奈良県推計人口調査が始まって以来転入超過が続き、平成10年に初めて転出超過に転じ、平成17年も引き続いて4,643人の転出超過となった。

都道府県別では、大阪府の85人を最高に、14の府県からの転入超過となっており、京都府、東京都、兵庫県の順に、32の都道府県への転出超過となっている。(統計表第8表参照)

図8.本県と全国ブロック別移動状況

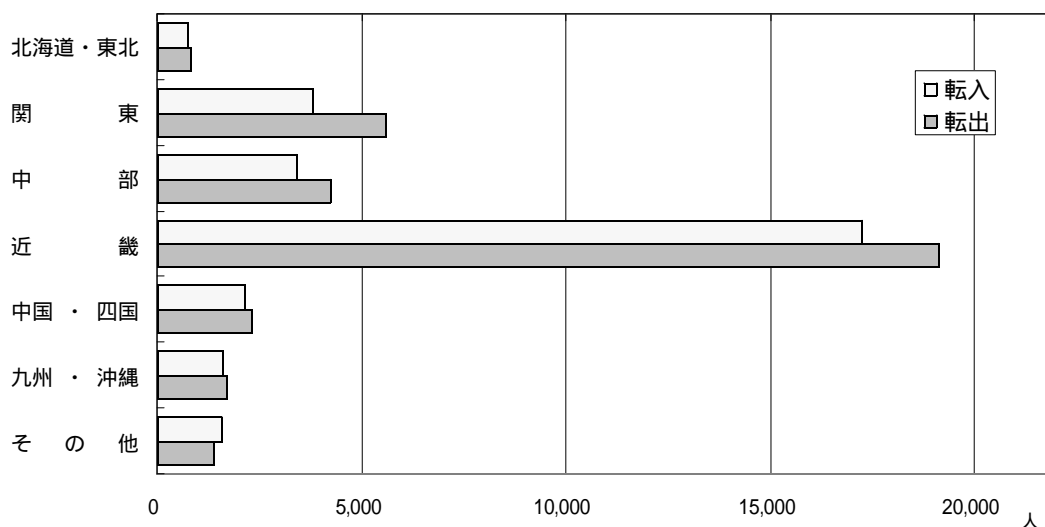


表7.本県と近畿5府県との移動状況

府 県 名	本県への転入		本県からの転出		転入超過数	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
滋 賀 県	563	3.3	725	3.8	162	8.7
京 都 府	2,493	14.4	3,764	19.7	1,271	68.2
大 阪 府	11,308	65.5	11,223	58.7	85	4.6
兵 庫 県	2,201	12.8	2,657	13.9	456	24.5
和 歌 山 県	693	4.0	754	3.9	61	3.3
計	17,258	100.0	19,123	100.0	1,865	100.0

## 7.人口移動(県内)

県内市町村間移動者数は22,483人

平成16年10月1日から1年間の県内市町村間の移動者数は22,483人で、前年と比べ731人減少した。

また、市町村間の転入転出者の状況をみると、転入超過は4市9町で、転出超過は7市9町13村であった。転入超過数及び転出超過数の主な状況は、次表のとおりである。

(統計表第6表参照)

表8.県内市町村間移動の状況

順位	多い市町村		少ない市町村	
	市町村名	増加数(人)	市町村名	増加数(人)
1	奈良市	428	大和高田市	295
2	広陵町	366	大和郡山市	235
3	香芝市	357	御所市	208
4	葛城市	199	五條市	158
5	生駒市	147	天理市	150

図9.県内市町村間移動者の推移

